

花背モニタリング 10 月

日時：2022 年 10 月 18 日（火）

場所：京都市左京区花脊原地井ノ口山

天候：晴れ

参加者：林業女子会 1 名、府立大学 1 名、平和堂財団 1 名、 noi-kyoto 10 名

いつもより半時間早く花背に着きオオハンゴンソウ駆除作業の前に井ノ口山の伏条台杉を見学しました。

古原製材所の横にあるゲートの鍵を開けてもらい車 3 台で出発。

石ころだらけの林道をガタガタゆれながら登っていく、進むにつれてどんどん道が悪くなって、雨にえぐられたひどい所も無事通過してほぼ垂直な面

に梯子が掛けてある前で車が止まった。

ひょっとしてここを登るの？（こわっ）
一人ずつ 13 段慎重に登った。その後ロープと木々をもつてのやぶこぎの始まりです。急な斜面を滑らないように足元だけを見て進んでいくと突然目の前に杉の巨樹が現れた。

木の途中の台になった所からコシアブラ、シラキ、カエデ、など生えている。感激してこれが目的の伏条台杉だと思い聞くとまだまだこの先に大きいのがあ

るらしい。2 度、3 度同じことを聞いて進んで行くとやがて今までより倍もありそうな巨樹が目

に飛び込んできた。
すごい迫力です。
この天然伏条台杉の樹高はあまり高くはないが幹回りは 18m 以上もあるそうです。

雪に押しつぶされた枝から根が生えて幹になっていくので、いつまでも樹勢が衰えないでどんどん大きくなっていき樹齢は 1000 年以上だとい

う。
枝が曲がった木は利用価値がなくて伐採を免れ今にいたった巨樹だとい

う事を山の所有者の奥様にお聞きしました。

集合写真を撮って一息入れるとやっと周りの木々が目に入ってきた。コ



ハウチワカエデ、ナツツバキ、タムシ

バ、コシアブラ、リョウブ、イヌブナ。ハリギリなどが高く背をのばしている。葉の切れ込みが深いモミジはヒナウチワカエデかな。タンナサワフタギ、ウリハダカエデの幼木の群生。帰り道にはキノコも目についてきて、とくに林道では、来る時は気づかなかったハタケシメジがどっさり、喜々として採り持ち帰りました。お昼からはオオハンゴンソウの抜根作業に精を出しました。（出口）



